

新型コロナウイルス感染症の収束に向けての要望について

この度の新型コロナウイルス感染症の対策にご尽力を賜り心より感謝申し上げます。
また本日の説明会の開催に重ねて御礼を申し上げます。

本県は、東京都をはじめ、埼玉県、茨城県など、感染者の多い都県と近隣、または接しておりますが、その割に感染者数が低く抑えられています。

これは、皆様方のご努力によるところが大きいと思いますが、しかし、そこには一抹の不安が残ります。

世界をみると、日本の感染者数は、今増加しつつありますがそれでもロックダウンしている国々に比べると驚くほど少なくなっています。それは、一つにはイタリアを始めヨーロッパの国々、またアメリカなどに比して、PCR検査数が少ないからといわれています。

例えば検査数は、ドイツは1000人中16人、イタリアや韓国なども10~15人の割合なのに対して、日本は1人です。調べなければ感染者は増えません。しかしこのウイルスは、感染者のうち8割が軽症、もしくは無症状であることがわかってきました。無症状でも感染力はあり、知らない間に人にうつしていくということです。

専門家の中には、日本でも感染者数に入らない、無症状感染者が都市部では広がっているかもしれないと言っている人もいます。そして無症状の感染者が、知らないうちに感染を拡大しているのだそうです。

もしそうだとしたら、感染数の少ないこの栃木県でも、発表感染者数より多くの方が感染していて、気づかないうちに、症状の出ないうちに感染源となっているかもしれません。栃木県は感染数の多い都県に近接、しかもそれらのベッドタウンであるのに驚異的なほど少ないのは、検査の実数が少ないからなのではないのでしょうか。

本日の資料では、相談件数は累計で5032件。検査実数は366件です。相談者のうちのたった7%しか検査を受けていません。相談するということは、感染したかもしれないという何らかの思い当たることや、症状がご本人やご家族、近しい方にあるからとみるのが妥当です。でも、9割以上の方は検査を受けていません。

このようなことを鑑みると、かなりの数の無症状感染者の方が市内にはすでに広がっていて、知らずのうちに感染を広げているとも考えられるのではないのでしょうか。

そうであるなら、まず、多くの市民に対して、本日提案のあったドライブスルーや墨田区のウォークスルー形式などでできるだけPCR検査を施し、感染者を確定して対処するか、または、一人一人が人と接触しないよう、自粛を強力に要請するかのどちらかしかありません。

今日の説明会で頂いたご返答から考えると、できるだけ多くのPCR検査を実施することはすぐには難しいと思います。とすれば、感染をこれ以上広めないために、人と人との接触をなくしていくしかありません。

でも今の状況ですと、市内にはまだまだたくさんの市民の往来が見られ、国の指針の8割減少は難しい現状です。栃木県や本市の自粛要請も非常に弱いと感じます。

今後は、市民の外出自粛、接触機会の8割削減を、あらゆる手段で市民に伝え、要請していくことがこの時期で最も大切なことと考えますことから、そのことを下記として市長に強く要望いたします。

記

1. 市長から、とちぎテレビなどあらゆる手段を講じて、市民に8割以上の外出抑制を直接、間接呼びかけること。

もしくは、県知事に頻繁な呼びかけを要請すること。

以上